

大学番号：009

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

岩手大学 農学部 森林科学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 岩手大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画本部戦略企画室

職名・氏名 センリヤクキカク 戦略企画グループ主査 シュサ 堤 ツツミダイスケ 大輔

電話番号 019-621-6032

（夜間） 019-621-6032

F A X 019-621-6014

e-mail senryaku@iwate-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

農学部

<森林科学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 岩手大学

(2) 大学名

岩手大学

(3) 大学の位置

〒020-8550

岩手県盛岡市上田3-18-8

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

該当なし

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
平成28年度に報告する内容 → (28)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合 (平成28年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
農学部 森林科学科 学士 (農学)	4年	30人	年次人	120人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を () 書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30 (-) [-]		() () []		() () []		() () []		1.06倍	
志願者数	103 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	82 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	32 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	32 (-) [-]	- (-) [-]	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.06									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 32	[-] (-) -	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/				[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
計			[-] (-) 32	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	32 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	0 人	平成29年度	人	人		#DIV/0! %
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	0 人	平成31年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	32 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<農学部 森林科学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目 実践知科目 技法知科目	基礎ゼミナール	1前	1			1	+					教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任教員等の配置を変更(28)
	英語総合Ⅰ(初級)	1前・後		1							兼8 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(初級)	1前・後		1							兼9 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(中級)	1前・後		1							兼12 兼11	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(中級)	1前・後		1							兼10 兼9	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅰ(上級)	1前・後		1							兼11 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語総合Ⅱ(上級)	1前・後		1							兼10 兼9	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(初級)	1前・後		1							兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅡ(初級)	1前・後		1							兼7 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(中級)	1前・後		1							兼9 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅡ(中級)	1前・後		1							兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅠ(上級)	1前・後		1							兼7 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	英語コミュニケーションⅡ(上級)	1前・後		1							兼7	
	英語基礎	1前			1						兼1	
	英語発展A	2・3前			1						兼1	
	英語発展B	2・3後			1						兼1	
	英語発展C	2・3前			1						兼1	
	英語発展D	2・3後			1						兼1	
	英語発展E	2・3前			1						兼1	
	英語発展F	2・3後			1						兼1	

教養教育科目	技法知科目	外国語科目	英語発展G	2・3前	1													兼1					
			英語発展H	2・3後	1															兼1			
			初級ドイツ語（入門）	1前・後	1															兼9 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)		
			初級ドイツ語（発展）	1前・後	1															兼10 兼7	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)		
			中級ドイツ語	1後	1															兼2 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)		
			初級フランス語(入門)	1前・後	1																兼11		
			初級フランス語(発展)	1前・後	1																兼9		
			中級フランス語	1後	1																兼3		
			初級ロシア語(入門)	1前	1																兼3 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)	
			初級ロシア語(発展)	1前	1																兼3 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)	
			中級ロシア語	1後	1																兼2 兼9	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)	
			初級中国語（入門）	1前・後	1																	兼5	
			初級中国語（発展）	1前・後	1																兼5 兼6	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)	
			中級中国語	1後	1																兼2		
			初級韓国語（入門）	1前	1																兼3		
			初級韓国語（発展）	1前・後	1																兼3		
			中級韓国語	1後	1																兼2		
			上級日本語A	1前	1																兼1		
			上級日本語B	1前	1																兼1		
			上級日本語C	1前	1																兼2 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)	
上級日本語D	1前	1																兼1					
教養教育科目	技法知科目	外国語科目	上級日本語E	1後	1															兼1			
			上級日本語F	1後	1																兼1		
			上級日本語G	1後	1																兼2		
			上級日本語H	1後	1																兼1		

健康・スポーツ科目	健康・スポーツA	1前	1									兼5 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	健康・スポーツB	1後	1									兼5 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	健康・スポーツC (シーズン)	1・2後	1									兼2	集中
	情報基礎	1前	2				1					兼13 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
学問知科目	文化科目												
	哲学の世界	1・2前・後	2									兼2	
	倫理学の世界	1・2後	2									兼1	
	日本の思想と文化	1・2前・後	2									兼1	
	アジアの思想と文化	1・2前	2									兼1	
	欧米の思想と文化	1・2前・後	2									兼1	
	日本の歴史と文化	1・2前・後	2									兼1 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	アジアの歴史と文化	1・2後	2									兼1	
	欧米の歴史と文化	1・2前・後	2									兼2	
	ジェンダーの歴史と文化	1・2前	2									兼1	
	女性と科学の関係史	1・2後	2									兼1	
	大学の歴史と現在	1・2前	2									兼1	
岩手大学ミュージアム学	1・2前	2									兼1		
心の理解	1・2前・後	2									兼6 兼8	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)	
学問知科目	文化科目												
	日本の文学	1・2前・後	2									兼2	
	言葉の世界	1・2前・後	2									兼2 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	中国の文学	1・2前・後	2									兼1	
	欧米の文学	1・2後	2									兼1	
	欧米の言語論	1・2前	2									兼1	
	芸術の世界	1・2前・後	2									兼2	
	日本語表現技術入門	1・2前	2									兼1	
図書館への招待	1・2後	2									兼1		
学問知科目	文化科目												
	日本の文学	1・2前・後	2									兼2	
	言葉の世界	1・2前・後	2									兼2 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	中国の文学	1・2前・後	2									兼1	
	欧米の文学	1・2後	2									兼1	
	欧米の言語論	1・2前	2									兼1	
	芸術の世界	1・2前・後	2									兼2	
	日本語表現技術入門	1・2前	2									兼1	
図書館への招待	1・2後	2									兼1		

		コミュニケーションの現在	1・2後	2									兼1	
		心と表象	1・2前	2									兼1	
		日本事情A	1・2前	2									兼1	
		日本事情B	1・2後	2									兼1	
		英語で学ぶ日本の文化	1・2前	2									兼1	
	社会科目	市民生活と法	1・2前	2									兼4	
		憲法	1・2前・後	2									兼5	
		経済のしくみ	1・2前・後	2									兼3	
		現代社会と経済	1・2前・後	2									兼4 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		市民と政治	1・2前	2									兼2	
		現代政治を見る眼	1・2後	2									兼2	
		社会的人間論	1・2前・後	2									兼5	
		現代社会の社会学	1・2前・後	2									兼4 兼5	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
教養教育科目	学問知科目	社会科目												
		地域と生活	1・2前	2									兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		地域と社会	1・2後	2									兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		対人関係の心理学	1・2前・後	2									兼3	
		知的財産入門	1・2前	2									兼1	集中
		知財ワークショップ	1・2後	2									兼1	集中
		キャリアを考える	1・2前・後	2									兼2 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		科学・技術と現代社会	1・2前	2									兼1	
		ボランティアとリーダーシップ	1・2前	2									兼1	集中
		現代の諸問題	1・2前	2									兼4 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼担・兼任教員数を変更(28)
		公共社会	1・2前	2									兼1	
		多文化コミュニケーションA	1・2前	2									兼1	
		多文化コミュニケーションB	1・2後	2									兼1	

自然 & 科学 技術 科目	生命のしくみ	1・2前・後	2									兼4	
	自然のしくみ	1・2前・後	2									兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	自然と数理	1・2前・後	2									兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	数理のひろがり	1・2前・後	2									兼3 兼2	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	宇宙のしくみ	1・2前・後	2									兼2	
	物質の世界	1・2前・後	2									兼2	
	自然と法則	1・2前・後	2									兼2 兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、兼任・兼任教員数を変更(28)
	自然と数理の世界	1・2前	2									兼1	
	自然の科学	1・2前	2									兼1	
学問 知 科目	自然 & 科学 技術 科目	科学と技術の歴史	1・2後	2								兼1	
	くらしと科学技術	1・2後	2									兼1	
	科学技術	1・2前	2									兼1	
環境 科目	「環境」を考える	1後	2									兼1	
	生活と環境	1後	2									兼1	
	都市と環境	1後	2									兼1	
	地域の環境保全を考える	1後	2									兼1	
	地球環境と社会	1後	2									兼1	
	水と環境	1後	2									兼1	
	廃棄物と環境	1後	2									兼1	
	植物栽培と環境テクノロジー	1後	2									兼1	
	森林と環境	1後	2		1							兼4	教育効果を高めるために、教養教育科目に関してクラス編成の変更を行ったため、専任・兼任・兼任教員数を変更(28)
	動物と環境	1後	2									兼1	
	人の暮らしと生物環境	1後	2									兼1	
	環境マネジメントと岩手大学	1後	2									兼1	
環境の科学	1後	2									兼1		

教養教育科目	地域関連科目	地域科目	現代社会をみる視角	1・2後	2											兼1			
		地域科目	岩手の研究	1・2後	2												兼1		
		地域科目	環境マネジメント実践学	1・2前	2												兼1		
		地域科目	いわて学Ⅰ	1・2前	2												兼1	集中	
		地域科目	いわて学Ⅱ	1・2後	2												兼1	集中	
	学問知科目	地域関連科目	地域科目	宮沢賢治の世界	1・2後	2											兼1		
			地域科目	危機管理と復興	1・2後	2												兼1	集中
			地域科目	持続可能なコミュニティづくり実践学	1・2前	2												兼1	
			地域科目	地元の企業に学ぶESD	1・2後	2												兼1	
			地域科目	地場産業・企業論	1・2前	2												兼1	集中
			地域科目	三陸の研究	1・2後	2												兼1	
			地域科目	自然災害と社会	1・2前	2												兼1	
			地域科目	東北の歴史	1・2後	2												兼1	
			地域科目	地域を考える	1・2前	2												兼1	
			地域科目	地域と国際社会	1・2後	2												兼1	
実践知科目	地域関連科目	地域科目	初年次自由ゼミナール	1後	1											兼6			
		地域課題演習科目	地域課題演習A	2・3前	2												兼1	集中	
		地域課題演習科目	地域課題演習B	2・3後	2												兼1	集中	
		地域課題演習科目	地域課題演習C	2・3前	2												兼1		
		地域課題演習科目	地域課題演習D	2・3後	2												兼1		
		地域課題演習科目	地域課題演習E	2・3前	2												兼1	集中	
		地域課題演習科目	地域課題演習F	2・3後	2												兼1	集中	
		地域課題演習科目	地域課題演習G	2・3前	2												兼1		
		地域課題演習科目	地域課題演習H	2・3後	2												兼1		

専門基礎科目	基礎数学入門	1前	2					1					兼 1	
	線形代数学入門	1後		2									兼 1	
	微分積分学入門	1後		2									兼 1	
	物理学入門	1前		2									兼 1	
	物理学	1後		2									兼 1	
	化学入門	1前		2									兼 3	
	化学	1前		2									兼 1	
	生物学入門	1前		2									兼 5	
	生物学	1前		2									兼 7	
	地学入門	1後		2		1							兼 3	
	生物統計学	1後	2					1					兼 2	
	基礎数学演習	1前		1					2	1			兼 1	
	基礎物理学演習	1前		1									兼 2	
	基礎物理学実験	2前		1									兼 1	
	基礎化学実験	1後		1									兼 1	
	基礎生物学実験	1後		1									兼 23 24	教員の異動によるため(28)
学部共通科目	総合フィールド科学	1前	2										兼 7	
	総合フィールド科学実習	1前	1										兼 5	
	地域おこし論	2前		2									兼 10	
	6次産業化論	2後		2									兼 1	
	インターンシップ	3前	1			5	4	2	1				集中	
	科学英語	2通		2									兼 3	
	科学文献読解法	3前		2									兼 3	
	海外特別実習	2・3・4 前後		1									兼 1	
	農学のための倫理学	2後	2										兼 2	
	卒業研究	3後～4後	6			5	4	2	1				兼 3	
専門重点科目	森林科学入門	1前	2			3	3	2	1				兼 3 2	ホームパス 教員効果高める ために、教員の配 置を見直したため
	森林科学基礎演習	1後	1			2	1						兼 2	※実習
	樹木学	2前	2						1					
	樹木学実習	2前	1			1			1					
	森林測量学 I	2前	2			1								
	森林測量学実習 I	2前	2			1								
	環境防災学	2前		2		1								
	森林計測学	2前	2				1							
	林業・木材産業論	2前	2				1							
	暖帯林概論	2前		1									兼 2	集中
	野生動物管理学	2後	2			1								
	地域生態系保全論	2後		2					1					
	森林保全生態学	2後		2					1					
	森林測量学 II	2後	2										兼 1	
	森林測量学実習 II	2後	1										兼 1	
	林業生産工学	2後	2			1								
	森林・雪氷水文学	2後		2		1								

山村経済・地域おこし論	2後		2			1				兼1	
地域観光学	2後		2			1					
森林環境教育論	2後		2							兼1	
木材と住宅	2後	2			1						
林産化学	2後	2				1					
森林科学研修	2通	1			5	4	2	1			集中
森林造成学	3前	2			1						
森林造成学実習	3前	1			1			1			
野生動物管理学実習	3前		1		1						集中
林業生産工学実習	3前	1			1						
林道工学	3前	2								兼1	
砂防学	3前	2			1						
森林計測学実習	3前	1				1					集中
森林政策学	3前	2				1					
海外・日本の林業	3前	2				1				兼1	
自然環境保全論	3前	2				1					
NPO・環境ガバナンス論	3前		2							兼1	
木材工学	3前		2		1						
森林バイオマスの成分利用	3前		2			1					
木材工学演習	3前		1		1						
森林化学演習	3前		1			1					
森林科学応用演習Ⅰ	3後	1			5	4	2	1		兼2	
環境と樹木の生理	3後		2		1						
森林保護学	3後		2		1	1	1				
林道工学実習	3後	1								兼1	
砂防学実習	3後	2			1						
森林計画学	3後		2			1					※演習
データ分析演習	3後		1			1					
森林科学応用演習Ⅱ	4前	1			5	4	2	1		兼2	
専門展開科目											
応用昆虫学Ⅰ	2・3後		2							兼1	
植物生理学	2・3後		2							兼1	
植物病理学Ⅰ	2・3後		2							兼1	
植物病理学Ⅱ	3・4前		2							兼1	
有機化学概論	1・2・3後		2							兼1	
天然物化学	2・3後		2							兼1	
生化学Ⅰ	1・2・3後		2							兼2	
微生物学概論	2・3後		2							兼1	
分子生物学Ⅰ	2・3後		2							兼1	
機器分析化学	3後		2							兼2	
応用力学	1・2・3後		2							兼1	
応用数学	1・2・3後		2							兼1	
構造力学	2・3・4前		2							兼1	
水理学	2・3・4前		2							兼1	

緑地環境学	2・3後		2								兼 1	
施設開発管理学	2・3後		2								兼 1	
地域景観保全論	3・4前		2								兼 1	
農業労働科学	2前		2								兼 2	
地域マネジメント論	2前		2								兼 5	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
38	197	1	236	38	197	1	236	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \text{該当なし}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運 動 場 用 地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等 数				(例) 平成28年4月 専任教授1名を新規 採用のため(28)		
		〇				6 15 室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	種 類 〔うち外国書〕	冊 数	機 械 ・ 器 具	標 本		
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])		
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])		
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])	[] ([])		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	岩手大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文社会科学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番34号	
人間文化課程	4	125	6	125	学士(総合科学)	1.05	平成28年度		
地域政策課程	4	75	4	75	学士(総合科学)	1.05	平成28年度	同上	
人間科学課程	4	—	—	—	学士(総合科学)	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
国際文化課程	4	—	—	—	学士(総合科学)	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
法学経済課程	4	—	—	—	学士(総合科学)	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
環境科学課程	4	—	—	—	学士(総合科学)	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
教育学部								岩手県盛岡市上田3丁目18番33号	
学校教育教員養成課程	4	160	—	640	学士(教育)	1.05	平成12年度		
生涯教育課程	4	—	—	—	学士(生涯教育)	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
芸術文化課程	4	—	—	—	学士(芸術文化)	—	平成12年度	同上	平成28年より学生募集停止
理工学部			3年次					岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	
化学・生命理工学科	4	90	2	90	学士(理工学)	1.06	平成28年度		
物理・材料理工学科	4	80	2	80	学士(理工学)	1.02	平成28年度	同上	
システム創成工学科	4	270	16	270	学士(工学)	1.00	平成28年度	同上	
工学部								岩手県盛岡市上田4丁目3番5号	平成28年より学生募集停止
応用化学・生命工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成21年度		平成28年より学生募集停止
マテリアル工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
電気電子・情報システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
社会環境工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
農学部			3年次					岩手県盛岡市上田3丁目18番8号	
植物生命科学科	4	40	1	40	学士(農学)	1.10	平成28年度		
応用生物化学科	4	40	1	40	学士(農学)	1.05	平成28年度	同上	
森林科学科	4	30	—	30	学士(農学)	1.06	平成28年度	同上	
食料生産環境学科	4	60	2	60	学士(農学)	1.05	平成28年度	同上	

動物科学科	4	30	1	30	学士（農学）	1.03	平成28年度	同上	
農学生命課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
応用生物化学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共生環境課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
動物科学課程	4	—	—	—	学士（農学）	—	平成19年度	同上	平成28年より学生募集停止
共同獣医学科	6	30	—	150	学士（獣医学）	1.06	平成24年度	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士（獣医学）	—	平成19年度	同上	平成24年より学生募集停止
人文社会科学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番34号
人間科学専攻	2	8	—	16	修士（学術）	0.74	平成16年度	同上	
国際文化学専攻	2	4	—	8	修士（学術）	1.00	平成16年度	同上	
社会・環境システム学専攻	2	4	—	8	修士（学術）	0.87	平成16年度	同上	
教育学研究科（専門職学位課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号
教職実践専攻	2	16	—	16	教職修士（専門職）	1.06	平成28年度	同上	
教育学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番33号
学校教育実践専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成21年度	同上	平成28年より学生募集停止
教科教育専攻	2	—	—	—	修士（教育学）	—	平成7年度	同上	平成28年より学生募集停止
工学研究科（博士前期課程）									岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
応用化学・生命工学専攻	2	25	—	50	修士（工学）	1.38	平成21年度	同上	
フロンティア材料機能工学専攻	2	30	—	60	修士（工学）	1.14	平成21年度	同上	
電気電子・情報システム工学専攻	2	40	—	80	修士（工学）	1.30	平成21年度	同上	
機械システム工学専攻	2	30	—	60	修士（工学）	1.43	平成21年度	同上	
社会環境工学専攻	2	20	—	40	修士（工学）	0.92	平成21年度	同上	
デザイン・メディア工学専攻	2	10	—	20	修士（工学又は芸術工学）	1.65	平成21年度	同上	
金型・鋳造工学専攻	2	10	—	20	修士（工学）	1.35	平成18年度	同上	
農学研究科（修士課程）									岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
農学生命専攻	2	20	—	40	修士（農学）	0.55	平成21年度	同上	
応用生物化学専攻	2	15	—	30	修士（農学）	1.10	平成21年度	同上	
共生環境専攻	2	16	—	32	修士（農学）	0.75	平成21年度	同上	
動物科学専攻	2	8	—	16	修士（農学）	0.74	平成21年度	同上	
バイオフィロンティア専攻	2	8	—	16	修士（農学）	0.62	平成21年度	同上	

工学研究科（博士後期課程）										岩手県盛岡市上田4丁目3番5号
フロンティア物質機能工学専攻	3	9	—	27	博士（工学）	0.18	平成21年度			
電気電子・情報システム工学専攻	3	4	—	12	博士（工学）	0.83	平成21年度	同上		
機械・社会環境システム工学専攻	3	4	—	12	博士（工学）	1.16	平成21年度	同上		
デザイン・メディア工学専攻	3	3	—	9	博士（工学又は芸術工学）	1.44	平成21年度	同上		
連合農学研究科（博士課程）										岩手県盛岡市上田3丁目18番8号
生物生産科学専攻	3	8	—	24	博士（農学又は学術）	1.33	平成2年度			
生物資源科学専攻	3	10	—	30	博士（農学又は学術）	0.80	平成2年度	同上		
寒冷圏生命システム学専攻	3	6	—	18	博士（農学又は学術）	0.83	平成18年度	同上		
生物環境科学専攻	3	8	—	18	博士（農学又は学術）	1.12	平成2年度	同上		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<農学部 森林科学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例)										平成26年3月 ○○○教授辞任のため 平成26年度より担当者の 変更(26) 平成26年11月 AC教員審査済(27)
専	教授	○○○○ (○○)	平成25年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (○○)	平成26年4月	国際経済学	
					兼任	講師	◇◇◇◇ (○○)	平成26年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (○○)	平成26年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成26年4月	商	該当なし					……………のため、就任が遅延 (26)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成28年10月	金融論						平成27年10月 □□□□准教授就任辞退(28) 「後任未定」平成28年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (○○)	平成28年4月	○○○○論	平成28年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
- ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
5	4	2	1	12	3	4	2	1	10	5	4	2	1	12
(5)	(4)	(2)	(1)	(12)						[]	[]	[]	[]	[]

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（A））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（B））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退 (26)			
			選択	◆◆基礎	②				
			必修	☆☆演習	③				
			自由	××語	②				
2	准教授	△△ △△	必修	☆☆演習	①	……………のため就任辞退 (27)			
			必修						
合計 (A)			後任補充状況の集計 (B)						
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

該当なし

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため辞任 (26)			
			選択	◆◆基礎	②				
			必修	☆☆演習	③				
			自由	××語	②				
2	准教授	△△ △△	必修	☆☆演習	①	……………のため辞任 (27)			
			必修						
合計 (C)			後任補充状況の集計 (D)						
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

該当なし

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)				
辞任等した教員数	担当科目数		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
○○	人	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	○○ 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	○○ 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	○○ 科目	計	○○ 科目	計	○○ 科目

該当なし

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<h1>該当なし</h1>

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)	〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)	〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	〇〇意見		

該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<農学部 森林科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位、 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 必修科目(1科)を増やすため、必修科目(1科)別添〇「新旧対象表」参照) ② 講義室を増やすため、講義室, 自習室を増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況, 方法等	<p>該当なし</p>
--	-------------

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成28年5月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成28年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成28年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; font-size: 2em; font-weight: bold;">該当なし</div>
--	--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期）</p>	<p>(<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>(28年 7月頃)</p>
---	--